

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	小手指ヶ原公園築造事業	所管	道路公園部みどり公園課
			TEL 2998-9196

事業目的 (何の為に 行うか)	自然環境と歴史的資産の保全を図り、郷土性・歴史性を活かしながら地域コミュニティの拠点づくりを目的とした総合公園を築造する。
-----------------------	---

事業の 具体的 内容	計画 全体	所沢市西部地域における歴史的資産や自然環境を保全活用した総合公園を築造する。計画面積 17.4ha
	平成 19 年度	事業認可を受けていないため、積極的に事業を進めることが困難な中、緑地や自然環境保全の観点から用地取得の検討を行った。

事業の 推進状況	進捗 率	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
		4.0	4.0	4.0				
	見込まれる総事業費(千円)			8,977,269		事業開始からの累計額(千円)		392,749

H19 経費	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	21,358	20,668	23,017	67.9

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	供用面積	公園として公有地化した面積/計画地面積(17.4ha)	17.4 単位 ha	1 単位 ha	5.7 単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	◎事業計画の見直しの必要性・・・ 有り * 無し ◎事業実施方法の見直しの必要性・・・ * 有り 無し
	◎総事業費見直しの必要性・・・ 有り ( 増額 減額 休止 終了 ) * 無し

今後の 方向性 (二次評 価の意 見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了						
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		担当	部課コード	070500	TEL	2998-9196		
事業コード	070503	小手指ヶ原公園築造事業	道路公園部みどり公園課					
開始年度		平成 12 年度	→	終了年度	平成 年度			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 土地利用	<input type="checkbox"/> 土木建設	<input type="checkbox"/> 建築	<input type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度		
根拠法令	都市緑地法・都市公園法・都市計画法							
分野別計画・指針	所沢市緑の基本計画							
関連・類似事業	所沢カルチャーパーク築造事業							
総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	2節 公園・緑地	中柱	2 公園の整備		
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 18 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	1131	計画段階からの市民参加の充実	コード	1311	ユニバーサルデザインの推進	コード	3221	公共工事のコスト構造改革
事業開始の背景	緑の基本計画において農地や雑木林及び砂川堀の河畔林等の豊かな自然環境と小手指ヶ原古戦場跡や白旗塚の歴史的資産を保全活用し、市西部の地域特性を活かした総合公園として構想された。							

②事業の概要		目的(何のために行うのか、具体的に)
		自然環境と歴史的資産の保全を図り、郷土性・歴史性を活かしながら地域コミュニティの拠点づくりを目的とした総合公園を築造する。
		事業開始後の環境変化(人口推移等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)と対応
		平成12年度に都市計画決定を行ったが、社会経済情勢等により、用地買収など積極的な公園整備が困難となっている。
内容		事業の具体的な内容及び実施方法
計画全体	所沢市西部地域における歴史的資産や自然環境を保全活用した総合公園を築造する。 計画面積 17.4ha	
H19	事業認可を受けていないため、積極的に事業を進めることが困難中、緑地や自然環境保全の観点から用地取得の検討を行った。	

③事業の推進状況							総事業費(予)(千円)
事業の進捗率(%)	~平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
	4.0	4.0	4.0				平成 未定 年度
解決すべき課題とその対応策							H19までの事業費累計(千円)
財政状況の厳しい状況の中で、積極的な公園整備が難しくなり、用地買収は地権者の相続時など状況を踏まえながら対応している。							392,749

④経費		《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
		当初予算		21,269	21,358	26,195
		決算(見込み含む)		20,714	20,668	
		正規職員人件費	0.05 人	460	0.25 人	2,349
		公債費				
		事業費合計		21,174	23,017	
		財源内訳	一般財源	21,174	23,017	26,195
			国・県支出金			
			受益者負担金			
			市債			
		その他				
		市民一人当たり(単位:円)		62.7	67.9	

※「財源内訳」について平成19年度のみ、当初予算の内訳となっており、「正規職員人件費」「公債費」はふくみません。

⑤指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H 20	将来目標	
	成果分析	供用面積	公園として公有地化した面積/計画地面積(17.4ha)	ha	目標値	17.4	17.4	17.4
					実績	1.0	1.0	実績値の拡大を図る1
			%	達成率	5.7	5.7	実績値の縮小を図る2	

⑥一次評価		評価項目	評価内容
目標設定	H 20	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)
		予算計上した公園用地(財務省所有地)の購入	事務の完了
評価	総合評価	事業計画の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ 方向性及び今後の <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒ 市の西部地域に計画された総合公園として、郷土性豊かな景観を保全し緑豊かなまちづくりを進める上で必要不可欠な計画である。
		事業実施方法の見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ 計画的な取得が難しいことから、自然環境保全の観点から一団の緑地(樹林地)を先行的に取得を検討する。 <input type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒
		し総の必要費見直理由	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り⇒( <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 ) <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し
		評価理由	事業認可を受け国庫補助事業の活用により進める事業であるが、進捗率が低く現段階では総事業費見直しの必要性は低い。また、小手指ヶ原公園築造事業の経費は、用地買戻しが現在、大半を占めている状況である。
		評価日	平成20年5月23日
		記入者職氏名	道路公園部みどり公園課長 並木 隆

⑦二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
評価	評価理由	評価日					
	次年度用評価	部内優先順位... 位					
	見込まれる貢献度	総計上位目標					
評価理由	市長マニフェスト	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
							B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
							C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑧外部評価	外部評価の実施	H19	H20	※本事業は外部評価の対象になっていません。
	評価			
対応				

⑨環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ... 有り	計画コード	241
施策体系	2-4オープンスペースの創造	施策の方向	2-4-1公園の整備	